

SAWAYAKA SHINKIN BANK Business condition report

さわやか景況レポート

(2024年1月～3月期)

目次

景況D I レポート	・・・ 1
製造業	・・・ 2
卸売業	・・・ 3
小売業	・・・ 4
サービス業	・・・ 5
建設業	・・・ 6
不動産業	・・・ 7
特別調査	・・・ 8
さわやか信用金庫独自調査	・・・ 9
各種統計指数	・・・ 10



第65号 2024年5月

夢と未来のサポーター



さわやか信用金庫

景況DIレポート

2024年1月～3月期（第4四半期） NO. 65

調査方法について

- ①製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種を対象に調査を実施いたしました。
- ②当金庫職員が、お取引先にご協力いただき聞き取り調査を実施しています。
- ③2023年度第4四半期を2023年度第3四半期と比較した実績と、2024年度第1四半期を比較した見通しを調査したものです。
- ④特別調査(533先)では、四半期ごとに異なったテーマのアンケートを実施しています。
- ⑤独自調査(493先)ではさわやか信用金庫独自のテーマでアンケートを実施しています。
- ⑥3ヶ月ごと(毎四半期)にレポートを作成しています。

調査企業の内訳

(単位:先)

従業員数	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
1～4	60	13	104	25	13	19	234
5～9	41	8	21	14	13	6	103
10～19	36	9	8	16	9	2	80
20～29	8	3	8	12	8	2	41
30～49	16	3	3	13	11	1	47
50～99	12	3	3	4	3	1	26
100以上	5	0	0	0	0	0	5
計	178	39	147	84	57	31	536

DIについて

DI(Diffusion Index)とは、景気動向指数ともいわれ、景気の動きの方向を判断する指標です。「増加(楽)」の回答割合から「減少(苦しい)」の割合を差し引いて表します。たとえば、増加と回答した企業が40%、減少と回答した30%であった場合、「40%－30%」＝10ポイントとなります。調査結果は、DIに季節調整を行って表しています。

季節調整について

統計指数から季節的な要因を取り除き、分析しやすい形にすることをいいます。例えば、『ビールは夏に売れる』『ボーナス時期には消費が増加する』等、統計指標には1年を周期とする季節的な要因があります。景気動向を見るためには、このような季節変動を考慮する必要があるため、季節調整を行います。

今期のDI

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合
業況	-12.6	-26.0	-25.5	-14.0	9.7	2.7	-14.1
売上	-7.8	-26.6	-16.1	-6.9	8.8	9.3	-8.5
収益	-10.3	-23.5	-19.7	-12.1	1.1	5.5	-12.0

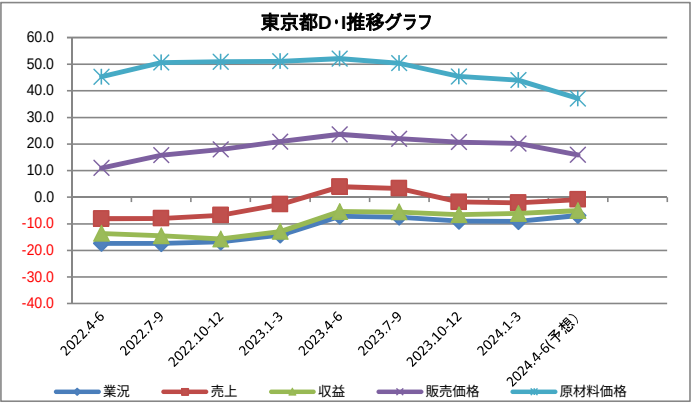
今期のコメント

製造業	業況・売上・収益ともに悪化
卸売業	業況は改善、売上・収益ともにやや改善
小売業	業況・売上・収益ともにやや悪化
サービス業	業況は大幅に悪化、売上・収益はわずかに悪化
建設業	業況・売上・収益ともに改善
不動産業	業況は悪化、売上はやや悪化、収益は改善

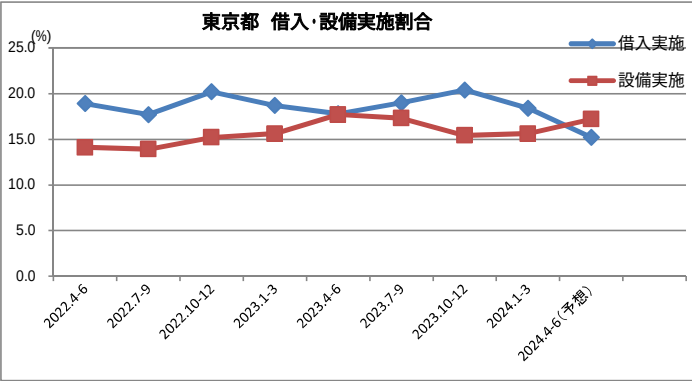
製造業

東京都全体 調査先有効回答先数 2,149先

	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6 (予想)
業況	-14.2	-7.1	-7.5	-9.0	-9.1	-6.9
売上	-2.7	3.9	3.3	-1.8	-2.1	-0.9
収益	-12.9	-5.4	-5.6	-6.6	-6.1	-5.1
販売価格	20.9	23.6	22.0	20.7	20.2	15.9
原材料価格	51.1	52.1	50.4	45.4	44.0	37.1
借入実施	18.7	17.8	19.0	20.4	18.4	15.2
設備実施	15.6	17.7	17.3	15.4	15.6	17.2



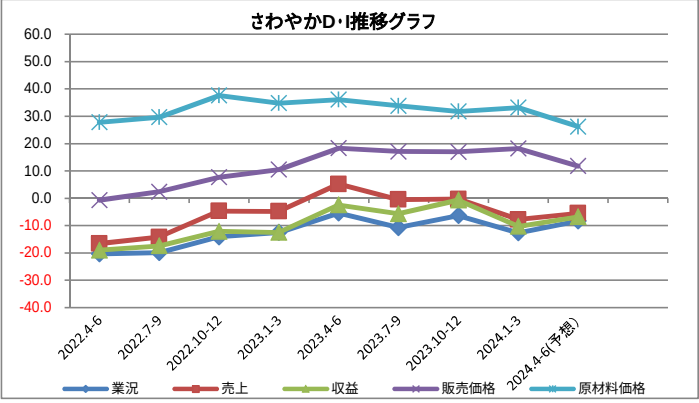
業況DIは対前期比ほぼ横ばいで、依然としてマイナス水準である。売上DIは対前期比わずかに悪化し、2期連続マイナス水準である。販売価格DIは前期とほぼ同様の水準で20.2と留まり、原材料価格DIは対前期比わずかに低下したが、44.0と高止まっている。



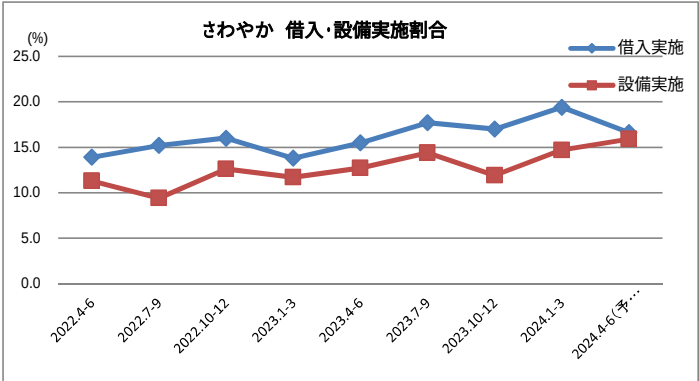
借入実施割合は対前期比やや減少し、2022年6月期から17%台～20%台で推移した。設備実施割合は今期15.6%と前期並であった。

さわか信用金庫 調査先有効回答先数 178先

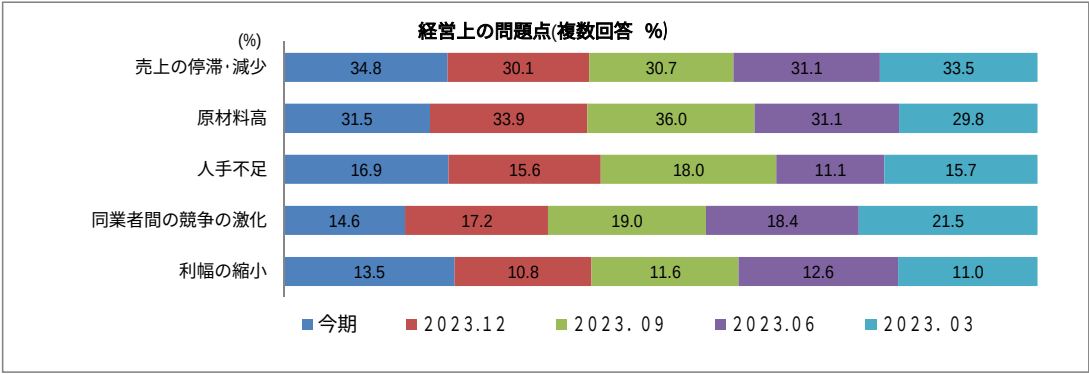
	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6 (予想)
業況	-12.5	-5.4	-10.7	-6.3	-12.6	-8.3
売上	-4.8	5.2	-0.5	-0.3	-7.8	-5.5
収益	-12.5	-2.5	-5.7	-0.7	-10.3	-6.8
販売価格	10.5	18.3	17.1	17.0	18.2	11.8
原材料価格	34.8	36.1	33.8	31.8	33.2	26.2
借入実施	13.8	15.5	17.7	17.0	19.4	16.6
設備実施	11.7	12.7	14.4	11.9	14.7	15.9



業況・売上・収益DIともには対前期比悪化し、依然としてマイナス水準である。販売価格DIは対前期比わずかに上昇し18.2となり、原材料価格DIも対前期比やや上昇し33.2で推移した。原材料価格はわずかに上昇しているものの、「東京都全体」と比較してやや低水準である。



借入実施割合は今期19.4%と対前期比やや増加した。設備実施割合は今期14.7%と対前期比やや増加した。



*経営上の問題点(さわか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は「売上の停滞・減少」の回答割合が高く34.8%となった。2位は前期1位の「原材料高」(31.5%)の回答が続き、3位は「人手不足」(16.9%)となった。

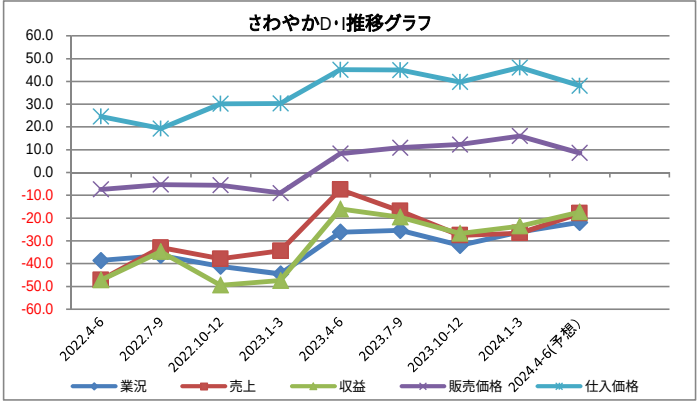
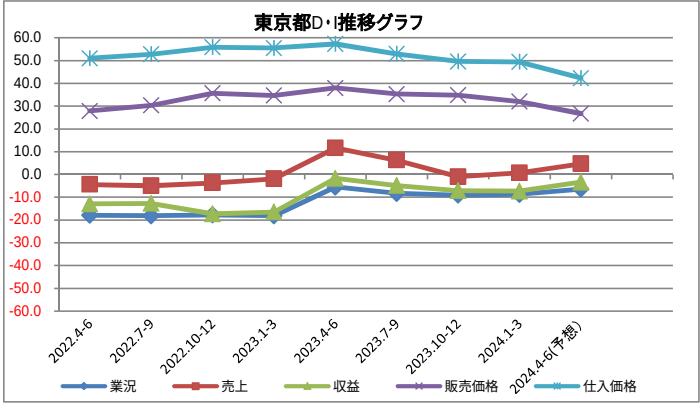
卸売業

東京都全体 調査先有効回答先数 741先

	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6 (予想)
業況	-18.1	-5.5	-8.3	-9.1	-8.7	-6.4
売上	-1.9	11.6	6.2	-1.0	0.7	4.7
収益	-16.5	-1.7	-4.9	-7.1	-7.3	-3.4
販売価格	34.7	38.0	35.3	34.8	32.0	26.7
仕入価格	55.5	57.3	52.9	49.6	49.4	42.3
借入実施	25.4	25.1	26.4	25.2	22.1	18.7
設備実施	15.4	14.4	15.1	15.8	16.1	15.6

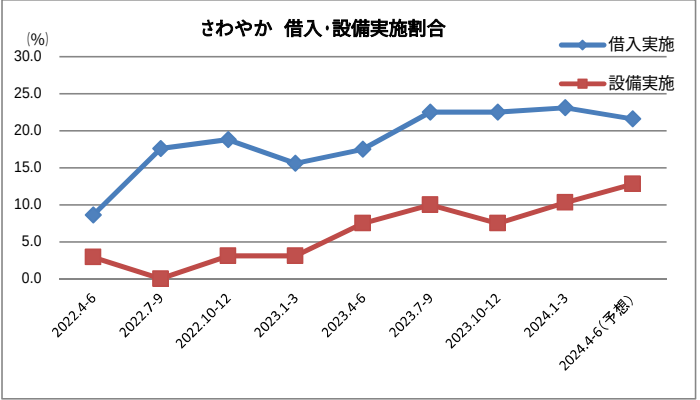
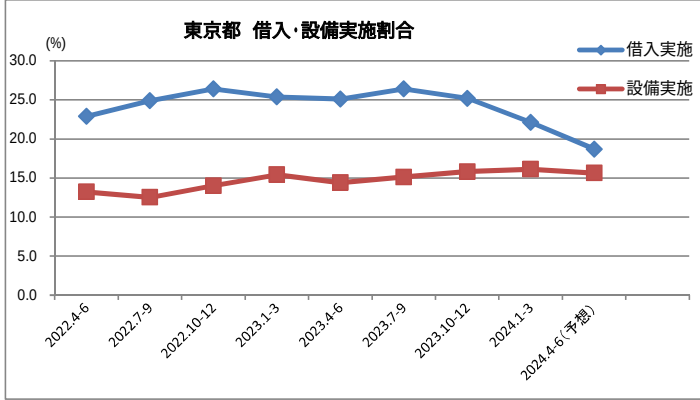
さわか信用金庫 調査先有効回答先数 39先

	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6 (予想)
業況	-44.5	-26.2	-25.4	-32.0	-26.0	-21.9
売上	-34.4	-7.5	-16.9	-27.6	-26.6	-17.9
収益	-47.4	-16.0	-19.6	-26.7	-23.5	-17.3
販売価格	-9.0	8.3	10.9	12.3	16.0	8.6
仕入価格	30.3	45.1	45.0	39.7	46.1	38.1
借入実施	15.6	17.5	22.5	22.5	23.1	21.6
設備実施	3.1	7.5	10.0	7.5	10.3	12.8



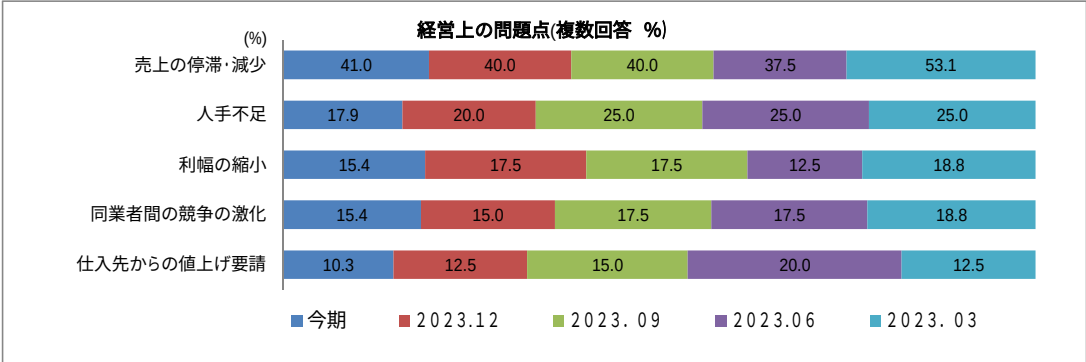
業況・収益DIは前期並の減少が続き、依然としてマイナス水準である。売上DIは対前期比わずかに改善し、プラスに転じた。販売価格DIは対前期比やや低下し今期32.0となり、仕入価格DIは前期とほぼ同様の水準で49.4と高止まりしている。

業況・売上・収益DIともに対前期比やや改善したが、依然としてマイナス水準である。販売価格DIは4期連続上昇し16.0となった。仕入価格DIは対前期比上昇し、46.1となった。販売価格は上昇傾向ではあるが、「東京都全体」と比較して、緩やかに推移している。



借入実施割合は2022年9月期から25%前後で推移していたが、今期はやや減少し22.1%となった。設備実施割合は2022年12月期から14%台～16%台で推移した。

借入実施割合は対前期並で、今期は23.1%となった。設備実施割合は対前期比やや増加し、今期は10.3%となった。

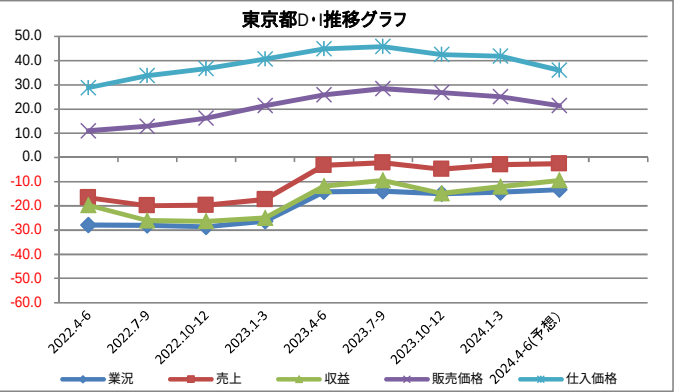


＊経営上の問題点(さわか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は前期に引き続き、「売上の停滞・減少」の回答割合が高く41.0%となった。2位は「人手不足」(17.9%)の回答が続き、3位は「利幅の縮小」と「同業者間の競争の激化」(同率3位・15.4%)となった。

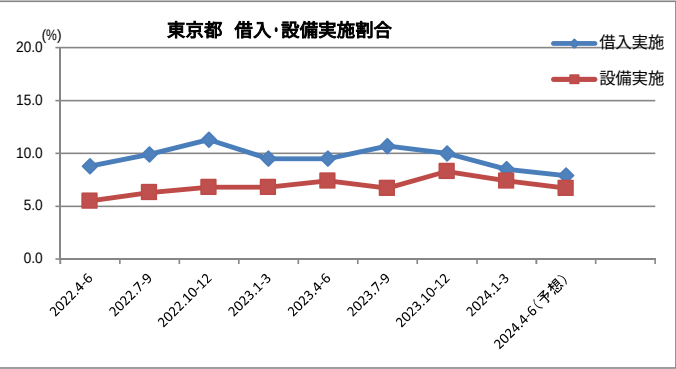
小売業

東京都全体 調査先有効回答先数 1,330先

	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6 (予想)
業況	-26.4	-14.2	-13.9	-15.0	-14.4	-13.3
売上	-17.4	-3.2	-2.2	-4.8	-3.0	-2.6
収益	-25.0	-11.8	-9.5	-14.9	-12.1	-9.5
販売価格	21.4	25.9	28.4	26.8	25.1	21.4
仕入価格	40.7	44.9	45.8	42.5	41.8	36.0
借入実施	9.5	9.5	10.7	10.0	8.5	7.9
設備実施	6.8	7.4	6.7	8.3	7.4	6.7



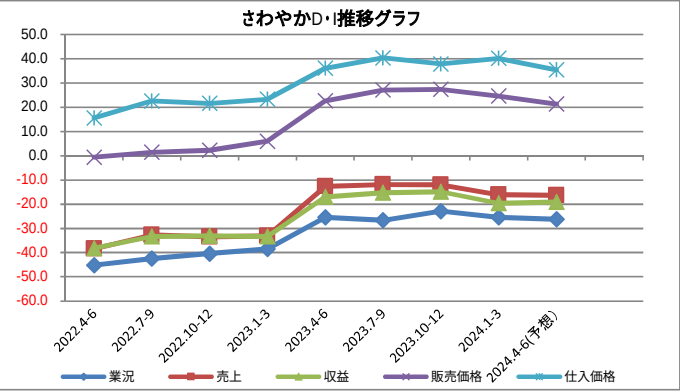
業況・売上・収益DIはともに対前期比わずかに改善したが、依然としてマイナス水準である。
販売価格・仕入価格DIともに対前期比わずかに低下したが、仕入価格DIは41.8と高止まりしている。



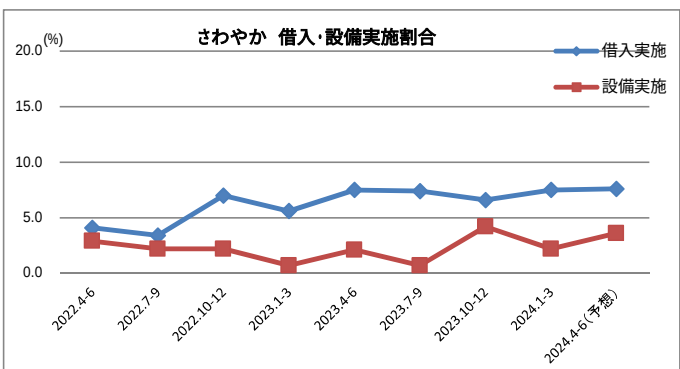
借入実施割合は2022年12月期の11.3%をピークにして、その後8%台～10%台で推移した。
設備実施割合は対前期比わずかに減少し、7.4%となった。

さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 147先

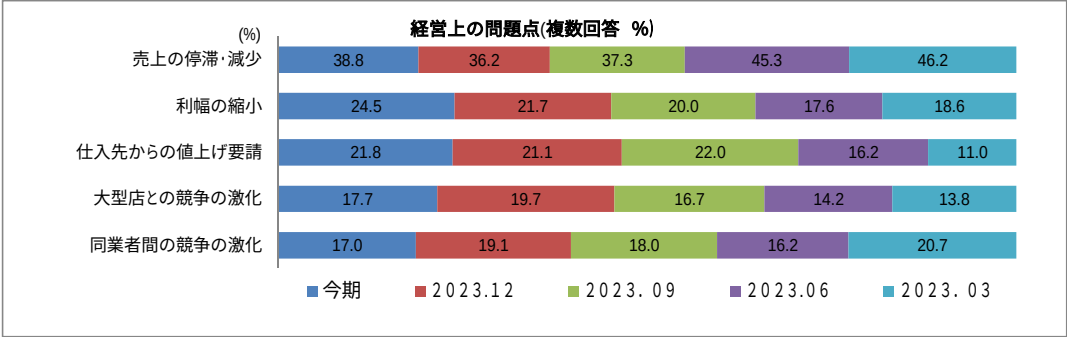
	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6 (予想)
業況	-38.5	-25.5	-26.6	-22.9	-25.5	-26.2
売上	-33.1	-12.7	-11.9	-12.0	-16.1	-16.3
収益	-33.3	-17.0	-15.3	-14.9	-19.7	-19.1
販売価格	6.0	22.7	27.1	27.4	24.7	21.4
仕入価格	23.3	36.1	40.4	37.9	40.2	35.5
借入実施	5.6	7.5	7.4	6.6	7.5	7.6
設備実施	0.7	2.1	0.7	4.2	2.2	3.6



業況・売上・収益DIはともに対前期比やや悪化し、依然としてマイナス水準である。販売価格DIは対前期比やや低下し、仕入価格DIはやや上昇した。「東京都全体」と比較して、販売価格・仕入価格ともにほぼ同水準となってきている。



借入実施割合は今期7.5%と対前期比わずかに増加した。
設備実施割合は今期2.2%と対前期比やや減少した。

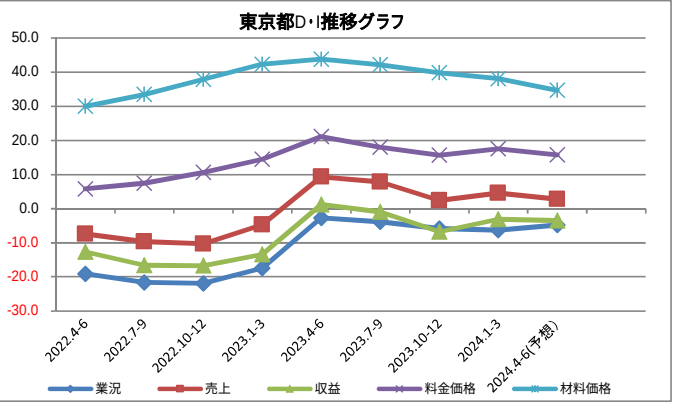


＊経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は前期に引き続き、「売上の停滞・減少」の回答割合が高く38.8%となった。2位の「利幅の縮小」(24.5%)は回答割合が徐々に上昇しており、3位は「仕入先からの値上げ要請」(21.8%)となった。

サービス業

東京都全体 調査先有効回答先数 1,204先

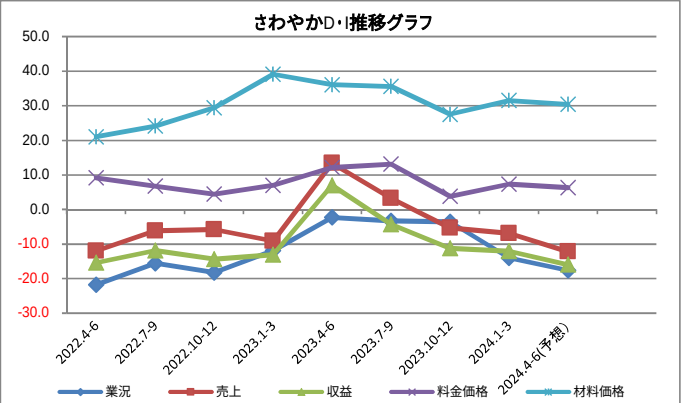
	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6 (予想)
業況	-17.4	-2.7	-3.9	-5.8	-6.3	-4.8
売上	-4.7	9.3	7.8	2.4	4.6	2.8
収益	-13.4	1.2	-1.0	-6.8	-3.1	-3.5
料金価格	14.5	21.1	18.0	15.7	17.6	15.8
材料価格	42.3	43.8	42.2	39.8	38.1	34.7
借入実施	13.8	15.9	15.9	15.6	15.3	14.1
設備実施	16.2	16.7	15.7	16.7	18.4	18.7



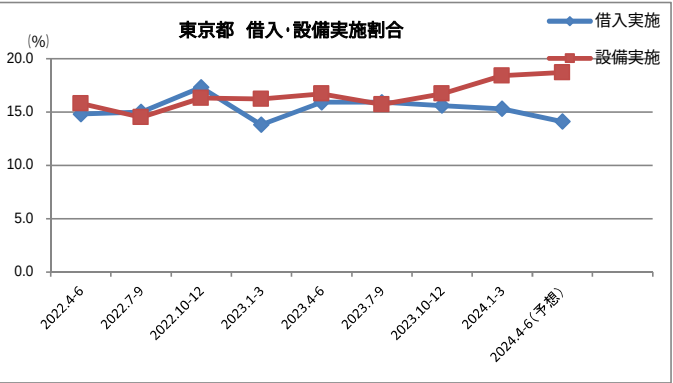
業況DIは対前期比わずかに悪化し、売上・収益DIはともに対前期比では、やや改善した。業況・収益DIはマイナス水準のままである。料金価格DIは対前期比やや上昇し、材料価格DIはやや低下した。

さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 84先

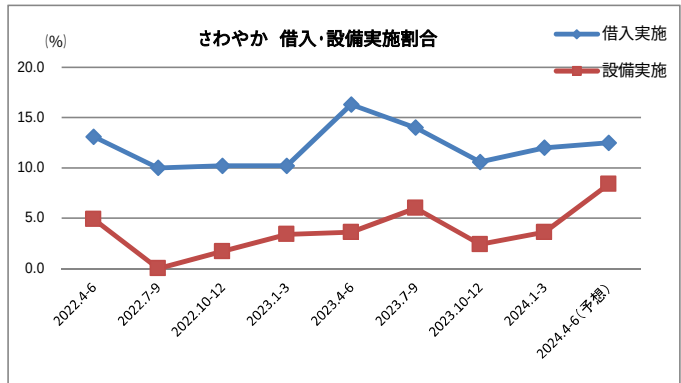
	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6 (予想)
業況	-11.9	-2.3	-3.3	-3.6	-14.0	-17.6
売上	-9.1	13.4	3.3	-5.3	-6.9	-12.2
収益	-13.1	7.0	-4.3	-11.2	-12.1	-16.0
料金価格	7.0	12.1	13.1	3.8	7.3	6.3
材料価格	39.1	36.1	35.6	27.5	31.5	30.4
借入実施	10.2	16.3	14.0	10.6	12.0	12.5
設備実施	3.4	3.6	6.0	2.4	3.6	8.4



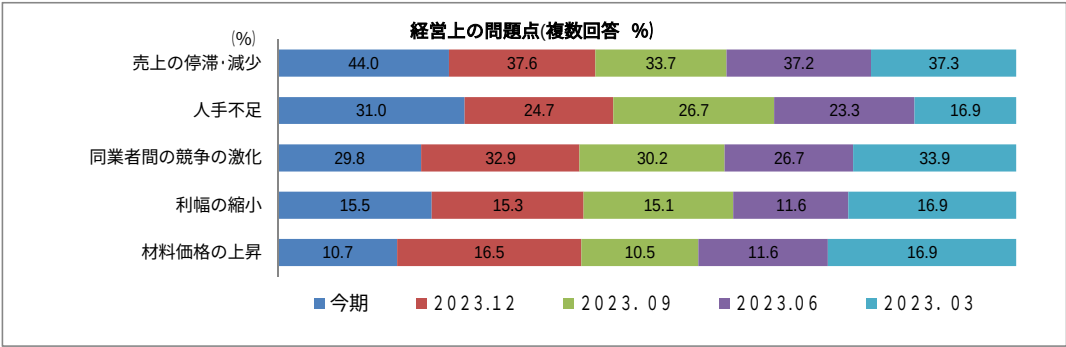
業況・売上・収益DIともに対前期比では悪化し、依然としてマイナス水準である。料金価格・材料価格DIともに対前期比では上昇した。「東京都全体」と比較して、料金価格・仕入価格ともに上昇傾向ではあるが、緩やかに推移している。



借入実施割合は2022年6月期から15%前後で推移した。設備実施割合は対前月比やや増加し18.4%となった。



借入実施割合は対前期比わずかに増加し、今期12.0%となった。設備実施割合は対前期比わずかに増加し、3.6%となった。

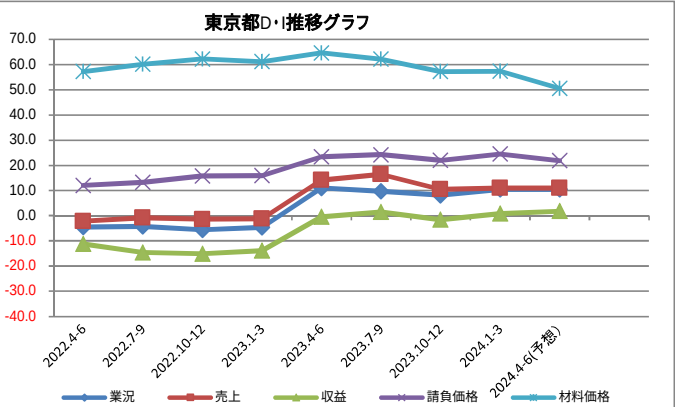


＊経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は前期に引き続き、「売上の停滞・減少」の回答割合が高く44.0%となった。2位の「人手不足」(31.0%)の回答割合は前期より上昇しており、3位は「同業者間の競争の激化」(29.8%)となった。

建設業

東京都全体 調査先有効回答先数 1,021先

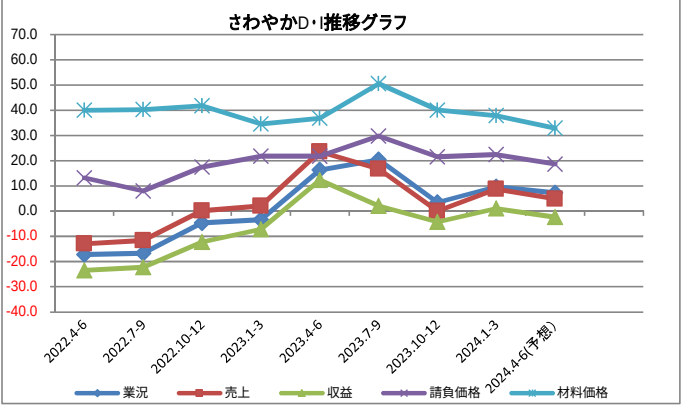
	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6 (予想)
業況	-4.6	11.0	9.7	8.1	10.5	10.4
売上	-1.2	14.1	16.4	10.5	11.0	10.9
収益	-13.9	-0.5	1.4	-1.6	0.8	1.8
請負価格	15.9	23.4	24.2	22.0	24.5	21.9
材料価格	61.1	64.6	62.1	57.2	57.3	50.5
借入実施	23.1	25.6	26.3	27.4	25.2	19.7
設備実施	18.2	18.2	17.8	17.2	17.1	16.3



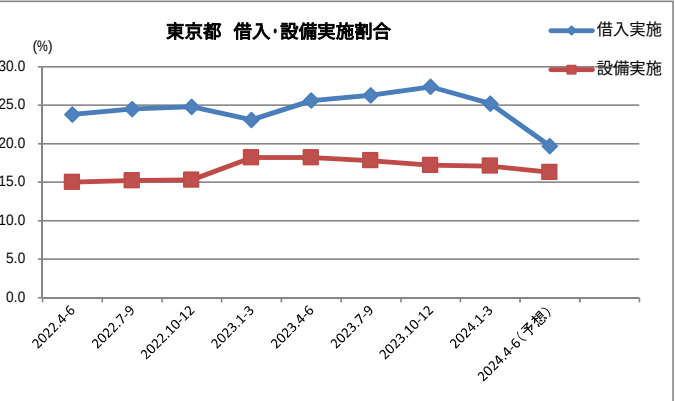
業況・売上・収益DIはともに対前期比やや改善し、収益DIは再びプラスへ転じた。請負価格DIは対前期比やや上昇した。材料価格DIは前期並で推移し、57.3と高止まりしている。

さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 57先

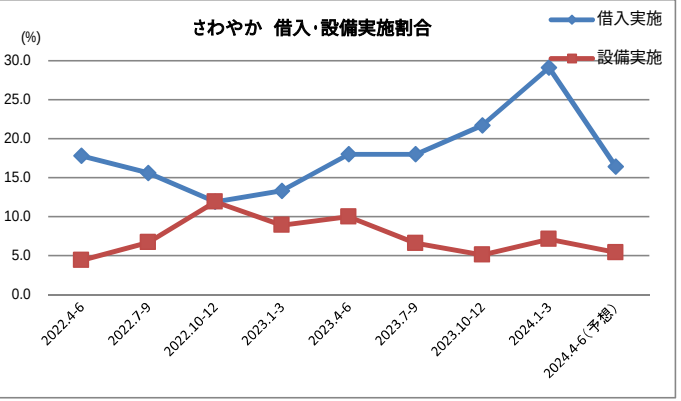
	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6 (予想)
業況	-3.4	16.4	20.4	3.4	9.7	7.2
売上	2.0	23.6	16.7	0.0	8.8	4.9
収益	-7.2	12.3	2.1	-4.3	1.1	-2.4
請負価格	21.8	21.8	29.8	21.6	22.4	18.7
材料価格	34.6	36.9	50.5	40.1	37.9	32.9
借入実施	13.3	18.0	18.0	21.7	29.1	16.4
設備実施	8.9	10.0	6.6	5.1	7.1	5.4



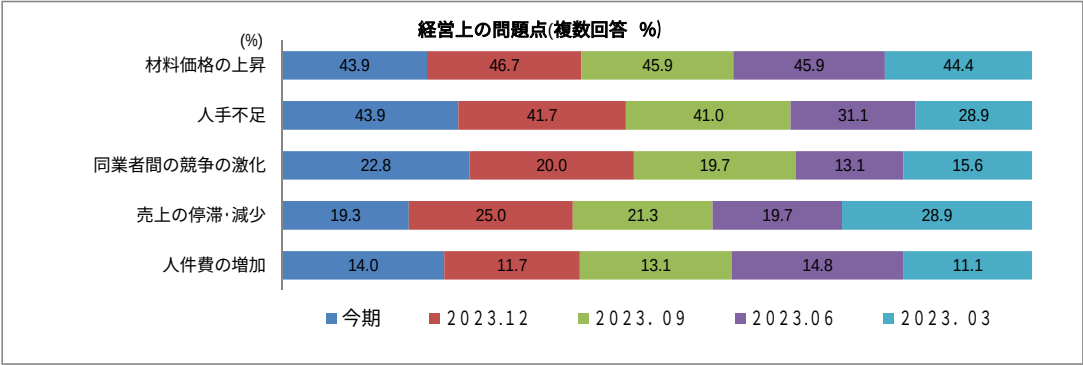
業況・売上・収益DIはともに対前期比改善し、収益DIはプラスへ転じた。請負価格DIは対前期比わずかに上昇し、材料価格DIは対前期比やや低下した。「東京都全体」と比較して、材料価格は低水準で推移している。



借入実施割合は2023年6月期から25%台～27%台で推移し、今期はやや減少し、25.2%となった。設備実施割合は2023年3月期から17%台～18%台で推移した。



借入実施割合は対前期比増加し、29.1%となった。設備実施割合は対前期比やや増加し、7.1%となった。

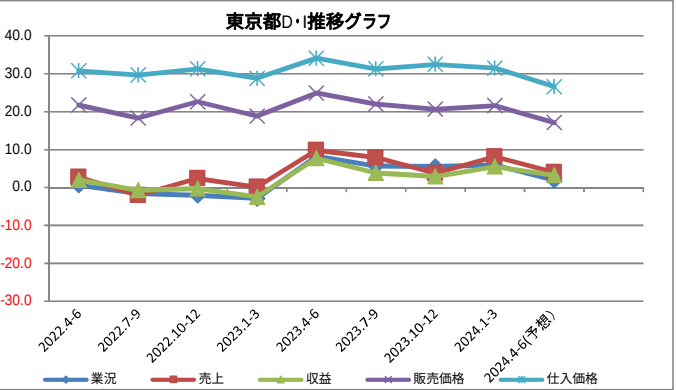


＊経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は「材料価格の上昇」と「人手不足」(同率1位・43.9%)の回答割合が高かった。「人手不足」の回答割合は徐々に上昇している。3位は「同業者間の競争の激化」(22.8%)の回答が続いている。

不動産業

東京都全体 調査先有効回答先数 591先

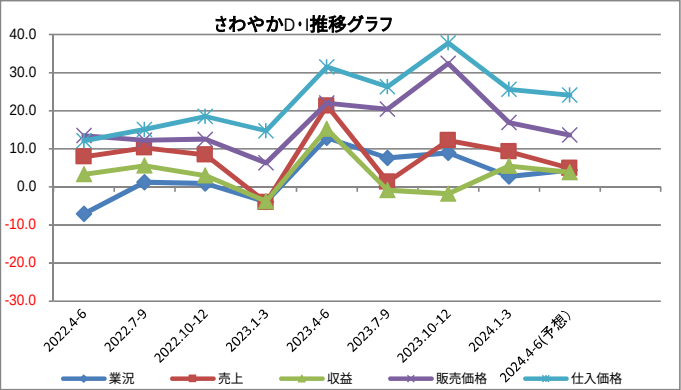
	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6 (予想)
業況	-2.9	8.2	5.7	5.5	5.9	1.9
売上	0.1	9.8	7.9	3.7	8.1	4.0
収益	-2.5	7.7	3.8	2.9	5.5	3.2
販売価格	18.8	24.9	22.0	20.7	21.6	17.1
仕入価格	28.8	34.1	31.3	32.5	31.5	26.6
在庫数量	-11.9	-13.5	-12.4	-11.9	-12.3	-13.2
資金繰り	-1.6	4.5	2.5	2.4	1.1	0.4



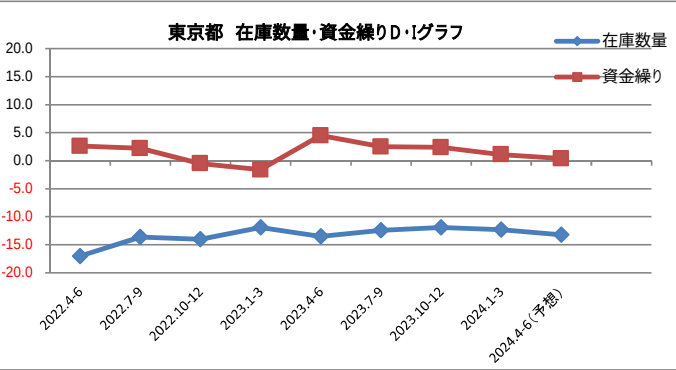
業況・売上・収益DIはともに対前期比でやや改善し、プラス水準を維持した。販売価格DIは2022年6月期からは上昇・低下を繰り返し、対前期比ではわずかに上昇し今期は21.6となった。仕入価格DIも同様の動きであり、対前期比ではわずかに低下し今期は31.5となった。

さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 31先

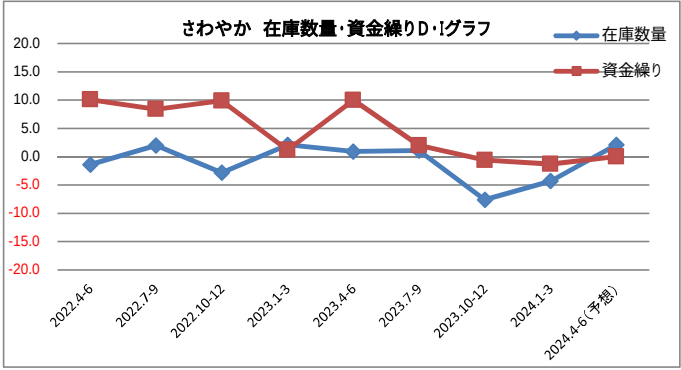
	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6 (予想)
業況	-4.0	12.9	7.6	8.9	2.7	4.4
売上	-4.1	21.3	1.3	12.2	9.3	4.9
収益	-3.8	15.2	-0.9	-1.8	5.5	3.8
販売価格	6.3	22.0	20.4	32.4	16.9	13.6
仕入価格	14.7	31.5	26.3	37.8	25.6	24.1
在庫数量	2.1	0.9	1.1	-7.6	-4.3	2.1
資金繰り	1.2	10.0	2.0	-0.6	-1.3	0.0



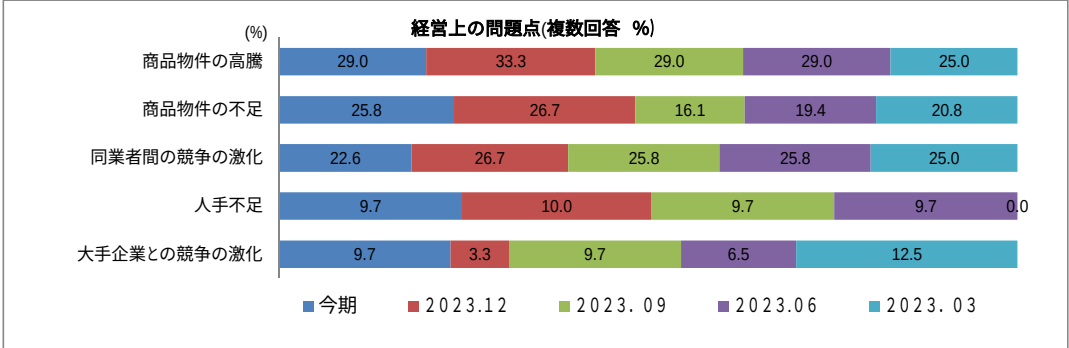
業況・売上DIはともに対前期比では悪化した。収益DIは対前期比では改善し、プラスへ転じた。販売価格・仕入価格DIともに、今期は対前期比では大幅に低下した。



在庫数量DIは2022年9月期から△13.0ポイント前後で推移し、資金繰りDIは今期1.1と対前期比ではやや悪化した。



在庫数量DIは対前期比増加し、今期△4.3となった。資金繰りDIは対前期比ではやや悪化し、今期△1.3となった。

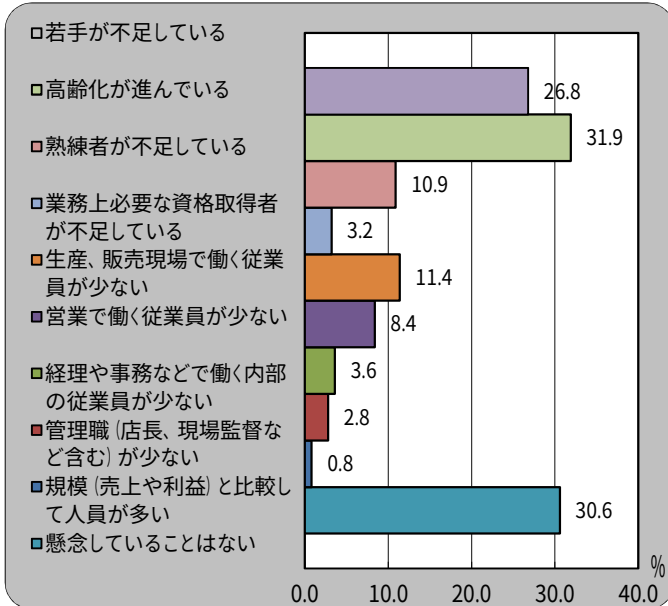


※経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は前期に引き続き、「商品物件の高騰」の回答割合が高く29.0%となった。2位は「商品物件の不足」(25.8%)の回答が続く、3位は「同業者間の競争の激化」(22.6%)となった。

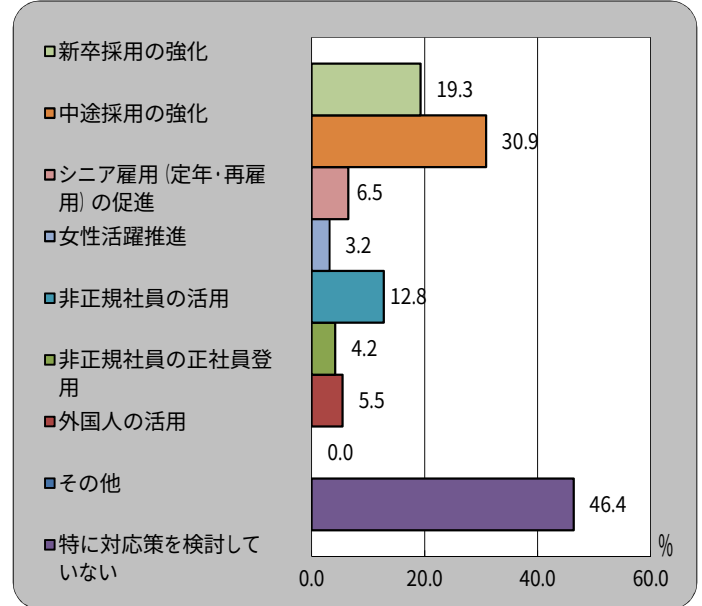
特別調査：中小企業における人材戦略について

《さわやか信用金庫・アンケート回答 533先》

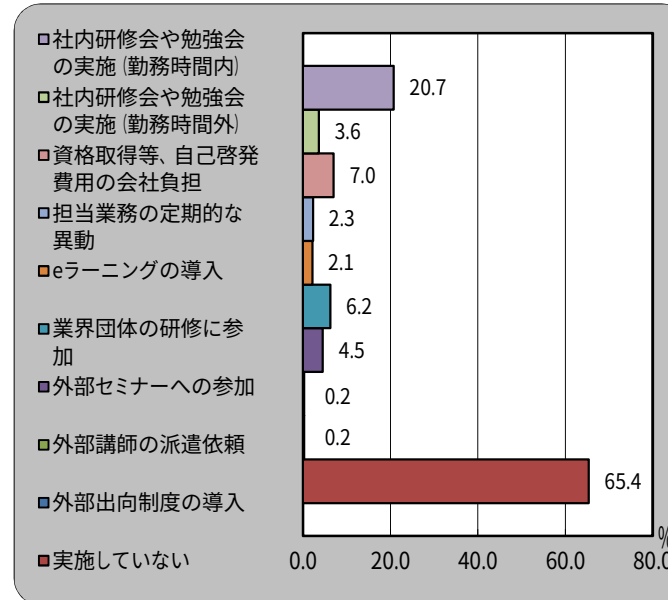
①現在の人材の状況について懸念していること



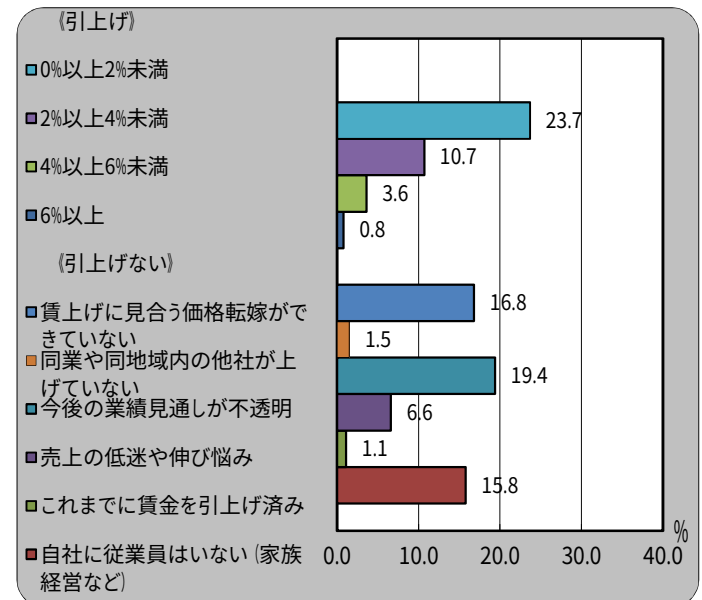
②今後の貴社の人材に対する対応策



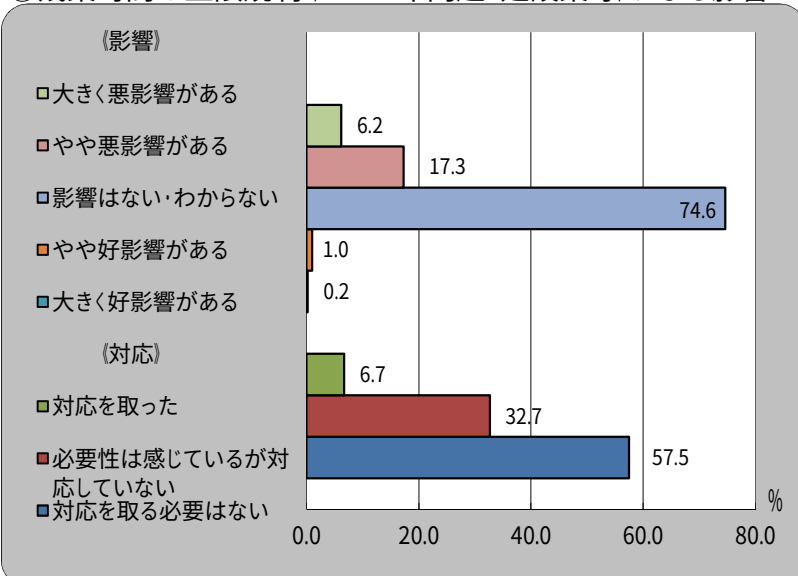
③人材育成における実地訓練(OJT以外)



④賃金(定期昇格、賞与等除く)引上実施状況

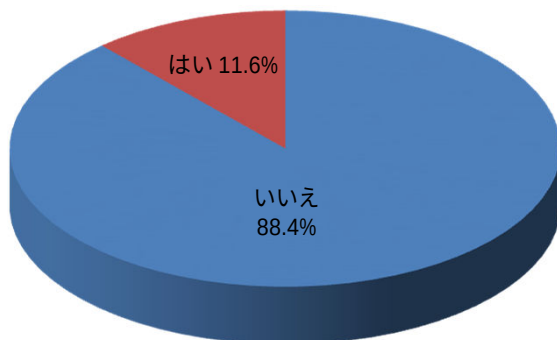


⑤残業時間の上限規制(2024年問題・建設業等)による影響

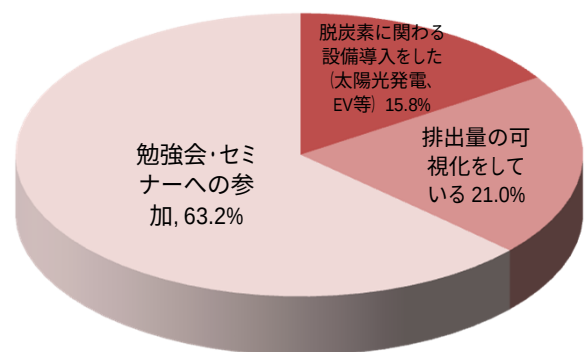


さわやか信用金庫独自調査：脱炭素について (さわやか信用金庫・アンケート回答 493先)

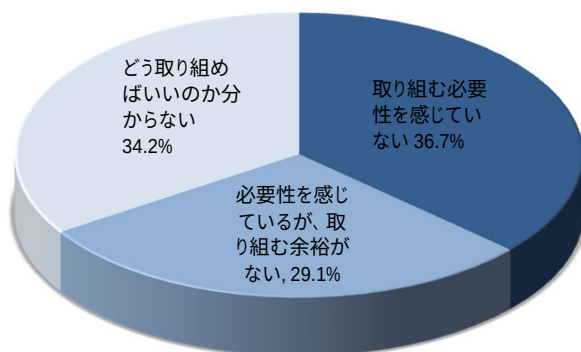
①脱炭素化に取り組んでいますか。



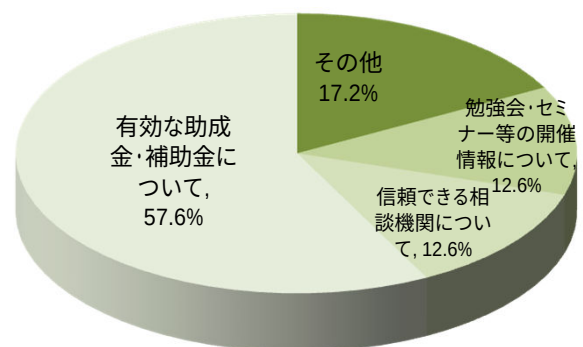
②どのような取組をしていますか。



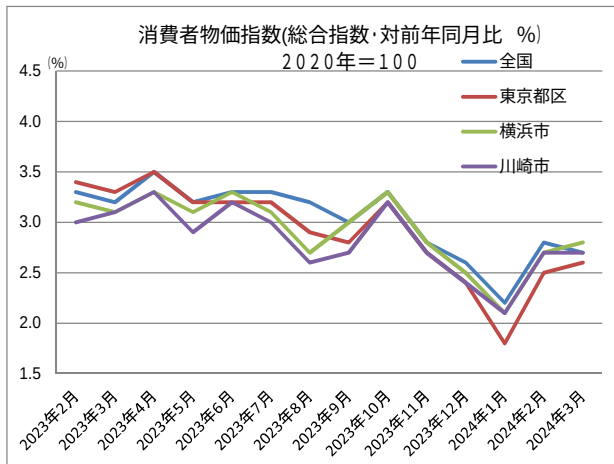
③取り組めていない理由は何ですか。



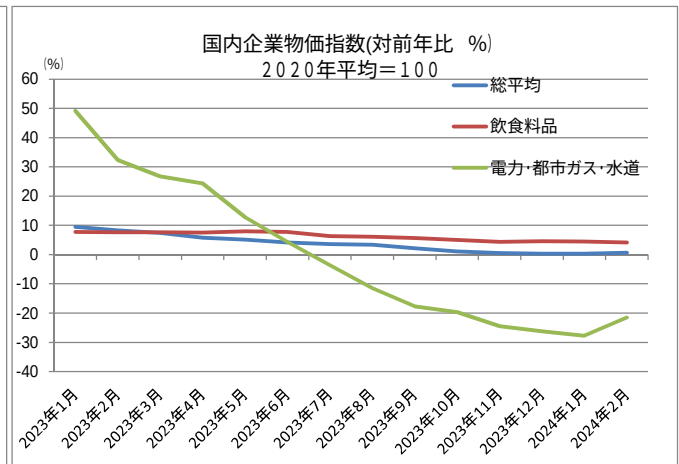
④脱炭素化に向けてどのような情報が知りたいですか。



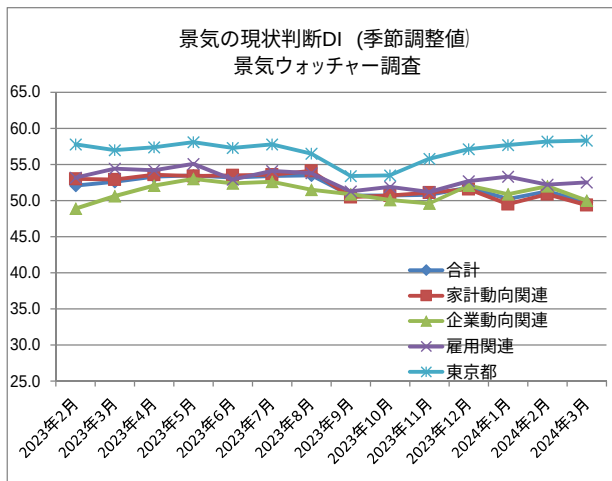
各種統計指数



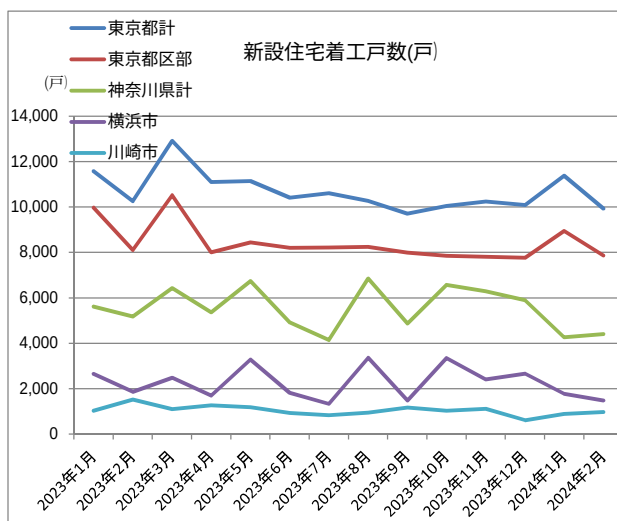
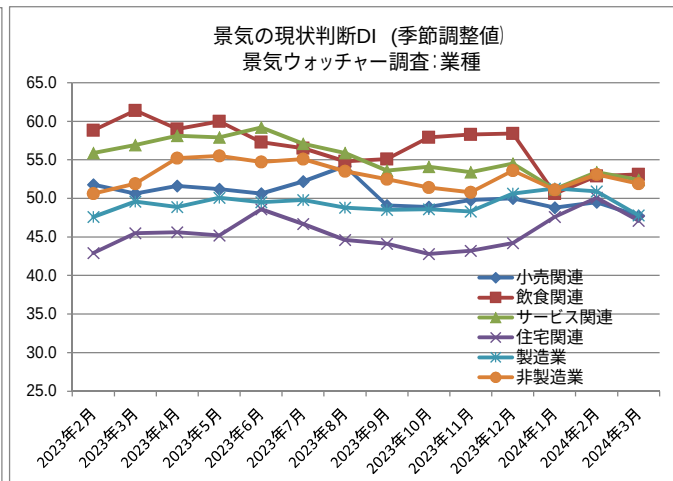
(出典:総務省統計局)



(出典:日本銀行)



(出典:内閣府)



(出典:国土交通省・東京都・神奈川県)

内閣府月例経済報告/基調判断の変化	
2023年4月	景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。
2023年5月	景気は、緩やかに回復している。
2023年6月	景気は、緩やかに回復している。
2023年7月	景気は、緩やかに回復している。
2023年8月	景気は、緩やかに回復している。
2023年9月	景気は、緩やかに回復している。
2023年10月	景気は、緩やかに回復している。
2023年11月	景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。
2023年12月	景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。
2024年1月	景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。
2024年2月	景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。
2024年3月	景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。

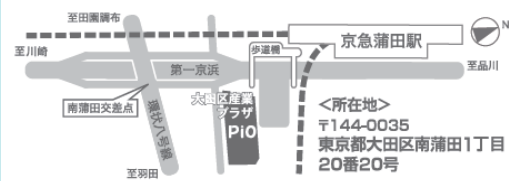
(出典:内閣府)

さわやか信用金庫 コンサルティングセンターからのご案内



第13回さわやか信用金庫
物産展

2024 **FRI**
10月18日 10:00▶16:00
大田区産業プラザ (PiO) 1F大展示ホール



同時開催
同業種交流会
4F コンベンションホール



主催：さわやか信用金庫・協賛：株式会社 さわやかリサーチ

問合せ

さわやか信用金庫 コンサルティングセンター

〒144-0047 東京都大田区萩中2-2-1
TEL:03-3742-0626 FAX:03-3742-0724

☎0120-258-370 受付時間:AM9:00-PM5:00
(土・日・祝祭日を除きます)

夢と未来のサポーター

 さわやか信用金庫

